

第 25 回千葉県理学療法士学会 査読ポリシー

● 査読者の選出

- 1) 査読候補者は千葉県理学療法士会員の中から、専門・認定理学療法士の取得状況および過去の査読実績を踏まえて大会長が選出する。
- 2) 査読候補者のうち、査読を受諾する者は、手続きの過程で査読可能な分野を選択する。

● 応募演題への査読者の割り当て

- 1) 応募演題 1 題につき 2 人以上の査読者が査読する。
- 2) 原則的に著者の希望と一致する分野の査読者を割り当てる。
- 3) 筆頭または共同にかかわらず、著者とは所属機関を異にする査読者を割り当てる。

● 査読内容

- 1) 採点: 査読者は下記の各項目を 5 段階順序尺度で採点する。

(1) 研究報告

- ① 独創性があるか
- ② 理学療法に関する貢献性があるか
- ③ 抄録内容が適切か:「演題名とキーワード」
- ④ 抄録内容が適切か:「はじめに、目的」(序論)
- ⑤ 抄録内容が適切か:「方法」
- ⑥ 抄録内容が適切か:「倫理的配慮、説明と同意」
- ⑦ 抄録内容が適切か:「結果」
- ⑧ 抄録内容が適切か:「考察」

(2) 症例報告

- ① 新規性もしくは独創性があるか
- ② 理学療法に関する貢献性があるか
- ③ 抄録内容が適切か:「演題名とキーワード」
- ④ 抄録内容が適切か:「症例紹介」
- ⑤ 抄録内容が適切か:「評価とリーズニング」
- ⑥ 抄録内容が適切か:「倫理的配慮、説明と同意」
- ⑦ 抄録内容が適切か:「介入内容と結果」
- ⑧ 抄録内容が適切か:「考察」

- 2) 分野の適切性: 希望する分野が内容と一致しているか
- 3) コメント: 全体の印象やアドバイスなどを自由記載方式で入力することもできる。

● 採否の決定

- 1) 演題の採否は、査読結果を参考に大会長が決定する。